

都市再生整備計画 事後評価シート
盛岡南地区

平成24年3月

岩手県盛岡市

様式2-1 評価結果のまとめ


都道府県名	岩手県		市町村名	盛岡市		地区名	盛岡南地区			面積	567.8ha
交付期間	平成19年度～平成23年度		事後評価実施時期	平成23年度		交付対象事業費	3,013百万円	国費率	43.2%		
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	事業名 道路(市道本宮230号線外6路線)、道路(市道矢盛・南田線外3路線)、公園(盛岡南地区公園外10公園)、公園(盛岡南地区公園外1公園)、地域生活基盤施設(地区内案内板整備事業)、高質空間形成施設(道路植栽事業)							
			提案事業	地域創造支援事業(盛南地区埋蔵文化財発掘調査・活用事業)、地域創造支援事業(バス利用空間整備事業)、地域創造支援事業(産業等用地上下水道整備事業)、まちづくり活動推進事業(道明地区地区計画策定)							
	当初計画から削除した事業		基幹事業	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
			提案事業	なし		-		-			
	新たに追加した事業		基幹事業	道路(市道盛南線外4路線)、道路(市道向中野215号線外3路線)、道路(仮称市道本宮向中野線)		地区住民の通行の利便性の向上のため、また、地区内の大街区の土地利用を促進させるため、追加。		公共施設の充実による効果発現のため、指標4を追加した。その他についてはまちづくりの目標達成に向けプラスの影響があるが、目標も指標も据え置く。			
			提案事業	地域創造支援事業(306街区上下水道整備事業)、地域創造支援事業(希少野生動植物保全対策事業)		306街区上下水道:地区内の大街区の土地利用を促進させるため追加。希少野生動物保全:地区の環境保全を図るため追加。		まちづくりの目標達成に向けプラスの影響があるが、目標も指標も据え置く。			
交付期間の変更		当初	平成19年度～平成23年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-				
		変更	-								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	地区内の定住人口	人	15,444	H17	19,644	H23	○	あり	道路・公園整備やバス利用環境の向上により、良好な居住環境が形成され、定住人口が増加した。	平成24年5月
	指標2	地区内の緑の充実度	m ² /人	8.3	H17	9.4	H23	△	あり	整備対象公園の変更により目標値を下回ったが、新規公園の開設や植栽により緑豊かで快適な居住環境の創出に寄与した。	平成24年4月
	指標3	バス利用者数	人/日	600	H17	810	H23	○	あり	バス停整備によりバス利用環境の向上を図ったほか、交通アクセスの改善によりバスの利便性が高まった。	平成24年4月
	指標4	商業地域の土地利用	%	57.4	H17	72.9	H23	○	あり	道路・公園整備やバス利用環境の向上、また、関連土地区画整理事業により土地利用が増進され、土地利用向上に寄与した。	平成24年4月
	指標5								あり		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	植栽の充実度	%	-	-			83.6		道路植栽により地区内の緑が豊かになり、緑のネットワークの構築と、ゆとりとうるおいのある居住環境の創出に寄与した。	-
	その他の数値指標2										
	その他の数値指標3										
4)定性的な効果発現状況	・まちの形成に合わせてNPO法人や市民主導の活動が活発になり、本計画の道路植栽事業に併せて、市民参加による植樹活動や花植えや維持管理等の活動が盛んになっている。 ・『もりとびあねっと』が平成19年度に設立。各施設の利用促進を図るスタンプラリーや当地区に出店したSC施設を活用した体験講座及びPR事業等を実施し、利用者が美術・歴史・科学・先人などに対し、多角的に興味関心を持つ機会を提供している。										
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況								今後の対応方針等
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								-
	住民参加プロセス	当計画で整備する公園に関して、利用者の意見を整備計画や運営・管理に反映させるための市民参加型ワークショップの開催	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								● 今後もワークショップを通じて、地元住民が安全、快適に利用できる公園づくりを勧めたい。
	持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								-

様式2-2 地区の概要


盛岡南地区(岩手県盛岡市) 都市再生整備計画事業の成果概要

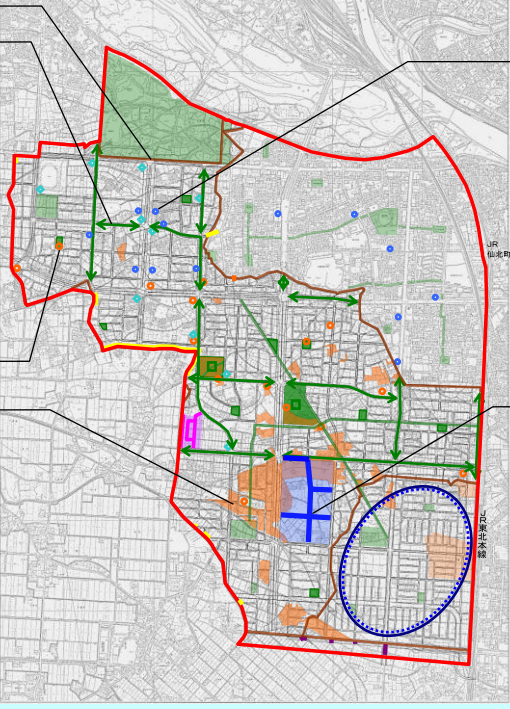
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
賑わいのある魅力的な街の創出から人口定着を図り、北東北の交流拠点都市の実現を目指す。 ○既成市街地と新しい都心が融合した歴史・文化が香る職住近接の住む人に優しい街の形成。 ○緑のネットワークの構築を図り、ゆとりと潤いのある居住環境の創出。 ○交通の要衝の特性を活かした人・物・文化が交流する拠点づくり。	地区内の定住人口	単位: 人	15,444	H17	19,644	H23	19,877	H23
	地区内の緑の充実度	単位: m ² /人	8.3	H17	9.4	H23	9.1	H23
	バス利用者数	単位: 人/日	600	H17	810	H23	2,942	H23
	商業地域の土地利用	単位: %	57.4	H17	72.9	H23	74.1	H23
	植栽の充実度	単位: %	-	-	-	-	83.6	H23

盛岡南新都市土地区画整理事業




道路植栽事業







バス利用空間整備事業




盛岡南地区公園外10公園整備事業



埋蔵文化財発掘調査



盛岡南新都市306街区



凡例

都市再生整備計画区域	
市道本宮230号線外7路線整備事業	
市道矢盛・南田線外3路線整備事業	
市道盛南線外4路線整備事業	
市道向中野215号線外3路線整備事業	
仮称市道本宮向中野線整備事業	
盛岡南地区公園外10公園整備事業	
盛岡南地区公園外1公園管金	
地区内案内板整備事業	
道路植栽事業	
埋蔵文化財発掘調査	
埋蔵文化財活用事業	
バス利用空間整備事業	
産業等用地上下水道整備事業	
306街区上下水道整備事業	
希少野生動植物保全対策事業	
道明地区地区計画策定	
盛岡南新都市産業等用地	
盛岡南新都市306街区	
土地区画整理事業区域	

まちの課題の変化

- ・保留地分譲が進み企業誘致の推進が図られ、また、交通アクセスの改善により交通環境の充実が図られ、盛岡の新都市としてふさわしいまちの形成が図られている。
- ・新設公園の開設や植栽の実施により地区内の緑の充実度が向上した。
- ・埋蔵文化財の調査が進み、道路・公園・関連事業の促進につながった。
- ・地区内未利用地の土地利用の促進と未開設公園の早期開設や、未調査箇所埋蔵文化財発掘調査の実施及び周知イベントの充実が課題として残されている。
- ・地区界の未接続道路の解消が必要となったほか、地区内人口の増加により、公園等の公共施設の質の高い整備・維持管理への関心や要望が多様化している。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・道路、公園等の公共施設の整備を促進させるほか、維持管理の質の向上を図り、盛岡の新都市としてふさわしい、住み良いまちの形成を図る。また、雇用機会の創出に寄与し、土地利用の促進を図る。
- ・地域住民の利便性の向上に資する道路整備、公園整備を実施することとし、未接続道路や未開設公園の整備、植栽未実施路線への道路植栽を実施するほか、適切な維持管理を行う。
- ・公園整備にあたっては、ワークショップ等を行い市民の意見を整備計画に取り入れるほか、地元主体の維持管理体制の構築を図るため、公園愛護会加入を促進する。
- ・地域への愛着を深めるため、適正なスケジュール管理により地区内未調査箇所の埋蔵文化財発掘調査を実施することとし、それに併せて地区内に点在する文化財の案内板を整備するほか、文化財への関心を高めるためのリーフレット発行及び周知イベントを開催する。